

小学校

教科【国語】

単元 4年【漢字の広場 カンジー博士の都道府県の旅】

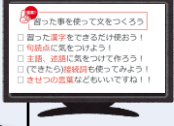
主体的・対話的で
深い学びのポイント

条件に合わせて考えた文をみんなで見合い、工夫や良さに触れる経験を通して、漢字や既習事項を積極的に使おうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

フォームを活用し、スプレッドシート(閲覧のみ)やテキストマイニングで作品を見合うことで、ポイントを視覚的に押さえ、文づくりに生かすことができる。

使用するICT機器	Chromebook（一人一台端末） Chromecast	使用するアプリ・クラウドサービス等	Googleフォーム・スプレッドシート テキストマイニング
クラウドの活用	☒ 教材の配布・回収等 ☒ 資料等の共有 ☒ 生徒の学習状況の把握 ☐ その他（ ）		

本時のねらい	【態】 進んで漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。 【知】 今まで学習したことを生かし、習った漢字を読むとともに、文や文章の中で使っている。		
	主な学習活動 (学習場面)	ICTの活用・留意点等	評価
導入	○本時の課題を確認する。 一斉	 ・課題をノートに書く。  ・本時の学習のねらいと見通しを確認する。	ICT機器  指針3
	○個別		
展開	○フォーム①で文を作る。	 ・フォームで作った文を送る。  ・スプレッドシートでみんなの作品も参考としながら文を作る。	ここで評価 指針2
	○中間交流 協働	 ・スプレッドシートを用いて全体交流する。  ・友だちの作品も参考にした一文をフォームで送る。	【態】 進んで漢字を読むとともに、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
	○交流をもとに文を作る。		
	○進出漢字を用いた文をノートに書く。 個別	 ・スプレッドシートから自分で選んだ作品をノートに書く。  ・苦手な漢字を書く際に手助けとなるサイトをクラスルームに貼って紹介する。	ここで評価 指針2 【知】 今まで学習したことを生かし、習った漢字を読むとともに、文や文章の中で使っている。
終末	○フォーム②で振り返る。 一斉	 ・フォームで自己評価をおこなう。 ・感想等を発表する。	自己評価や感想をもとに、次の授業づくりに生かす。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度